確定事例の概要

島根県安来市で採取された渡り鳥の糞便において、高病原性インフルエンザウイルスが検出された。

主な経緯等（以下、環境省自然環境局野生生物課）
（1）渡り鳥糞便の採取地点
　島根県安来（やすぎ）市
（2）経緯
　・11月13日午後8時、京都産業大学より、島根県において大学で独自に行っている渡り鳥糞便調査（11月3日採取）により、コハクチョウの糞便2検体から、高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N8亜型）が検出された旨、報告があった。
　・同日、糞便採取地点の周辺10km圏内を野鳥監視重点区域に指定した。
今後の対応方針（緑豊かな自然課）

■野鳥
○死亡野鳥の監視パトロールの徹底強化
（明日から全県で）
○死亡野鳥に関する情報の早期通報体制の再確認
○県民へのお知らせ（野鳥との接し方、死亡個体に係る
情報の通報、通報窓口の周知）
今後の対応方針（畜産課）

1 家きんについて
(1) 発生地点を中心とした半径3km以内の区域にある家きん100羽以上飼養する農場の異常の有無の確認及び飼養衛生管理基準の遵守状況の確認及び必要な防疫措置。
【調査内容】
死亡率の増加、産卵率の低下、飼養衛生管理基準の遵守状況
【必要な防疫措置】
出入口の消毒実施、防鳥ネットの適切な設置
(2) 県内の全家きん飼養農場への情報提供及び異常の有無の確認。

2 鳥インフルエンザ防疫演習の実施状況
・11/12 西部地区 11/13 中部地区
・11/20 日野地区 11/26 東部地区

鳥インフルエンザ対応窓口

<table>
<thead>
<tr>
<th>専 門 窓 口</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>■ 生産者の皆さんの方相談窓口</td>
</tr>
<tr>
<td>県庁農林水産部農業振興監畜産課</td>
</tr>
<tr>
<td>小松原畜産保健衛生所</td>
</tr>
<tr>
<td>島原畜産保健衛生所</td>
</tr>
<tr>
<td>西部畜産保健衛生所</td>
</tr>
<tr>
<td>■ 野鳥、愛玩鳥、食の安全に関する相談窓口</td>
</tr>
<tr>
<td>東部生活環境事務所</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>中部総合事務所生活環境局</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>西部総合事務所生活環境局</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>■ 人の健康に関する相談窓口</td>
</tr>
<tr>
<td>東部総合事務所保健事務所</td>
</tr>
<tr>
<td>中部総合事務所福祉保健局</td>
</tr>
<tr>
<td>西部総合事務所福祉保健局</td>
</tr>
<tr>
<td>■ 鳥インフルエンザ相談窓口（平日夜間、日曜日、土曜日、祝日）</td>
</tr>
<tr>
<td>県庁防災事務局</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（相談の内容が専門的な場合は、上記専門窓口に取り次ぎます。）
お願い

■ 家きん卵、家きん肉を食べることにより、鳥インフルエンザウイルスが人に感染することは世界的にも報告されていません。

■ 鳥インフルエンザウイルスは、感染した鳥との濃密な接触などの特殊な場合を除き、通常では人には感染しないと考えられています。日常生活においては、鳥の排泄物に触れた後には、手洗いとうがいをしていただければ、過度に心配する必要はありません。

■ 今後とも、迅速で正確な情報提供に努めますので、生産者等の関係者や消費者が根拠のない噂などにより混乱することがないよう、御協力をお願いします。